

各 位

令和6年度 梅干の状況について

和歌山の梅産地は、令和5年の年末の暖冬により、通年より開花時期が早く、未成熟の花が多かった影響で、今まで経験したことのない凶作と、3月20日の紀南地方広範囲にわたり降った雹（ひょう）の被害で、元々少ない実の半数以上に傷が付く甚大な被害となっています。また暖冬により大量に越冬した、カメムシによる梅の実への被害がさらなる追い打ちをかけることとなり、災害級の凶作となっております。梅干の漬込量は平年の約3割で、そのうち半分は規格外品と見られ、これにより、一般梅干商品となる原料は平年の3割未満の見込みです。

このような事情により、梅干し原料は逼迫し価格も高騰しており、紀州産梅干の価格改定は避けることのできない状況にあります。お客様各位におかれましては産地のこの窮状をお察し頂き、価格改定に何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、引き続き本組合加盟事業所のご愛顧をお願いし、現況の報告とさせていただきます。

令和6年7月

紀州みなべ梅干協同組合



紀州田辺梅干協同組合

